

◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

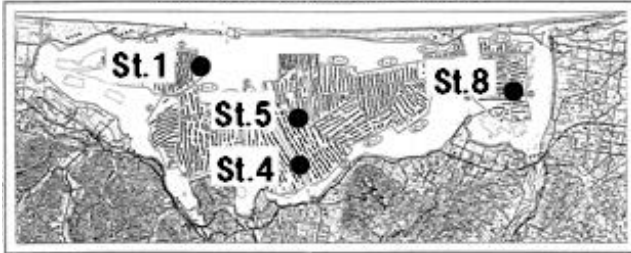
9月3日に湖内4地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ（シュウリガイ）ラーバは平均で368個/トッ出現しており、200μm以上の大型個体が増加していました。

ホヤ類（ザラボヤ、ユウレイボヤ、エボヤ）のラーバは地点によりばらつきがありますが平均でザラボヤが44個/トッ、ユウレイボヤが26個/トッ、エボヤが56個/トッ出現しており、いずれも先週より増加していました。

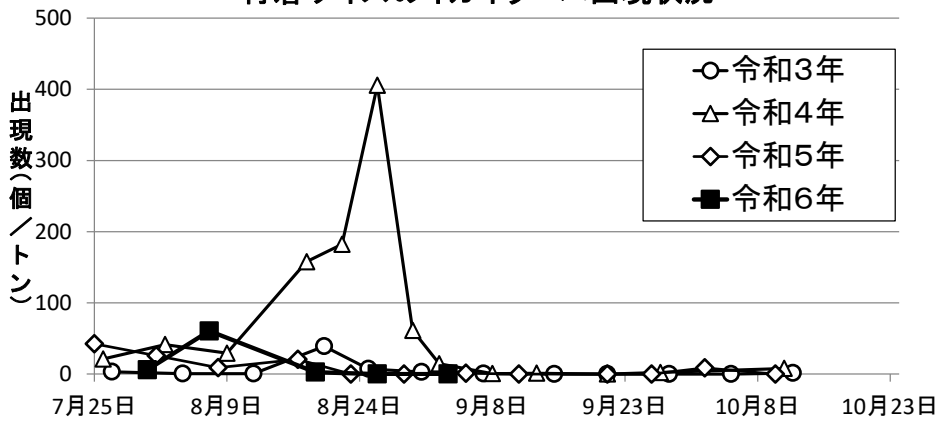
付着物ラーバの出現状況

イガイラーバ	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	6	0	4	0	2
150 ~ 160	0	11	7	22	10
160 ~ 170	45	26	14	22	27
170 ~ 180	161	29	14	22	57
180 ~ 190	284	19	28	54	96
190 ~ 200	211	29	57	33	82
200 ~ 210	56	13	50	22	35
210 ~ 220	17	5	18	44	21
220 ~ 230	28	0	28	22	19
230 ~ 240	17	5	7	11	10
240 ~ 250	6	0	14	11	8
250 ~ 260	0	0	4	0	1
260 ~ 270	0	0	0	0	0
270 ~ 280	0	0	0	0	0
280 ~ 290	0	0	0	0	0
290 ~ 300	0	0	0	0	0
合計	829	138	244	261	368
200μm以上	122	24	120	109	94
	15%	17%	49%	42%	25%
260μm以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ザラボヤ	10	73	58	34	44
ユウレイボヤ	10	26	52	14	26
エボヤ	10	71	122	20	56

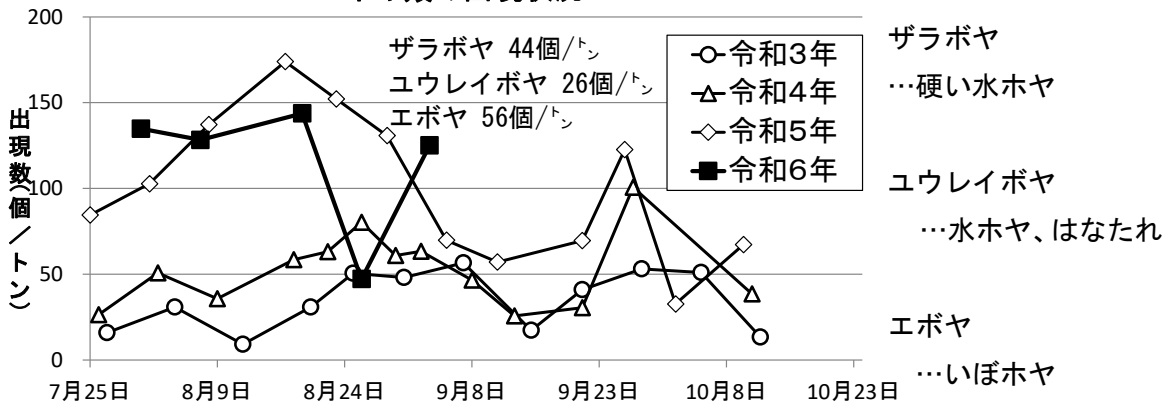
付着物ラーバ関連調査地点図



付着サイズのイガイラーバ出現状況



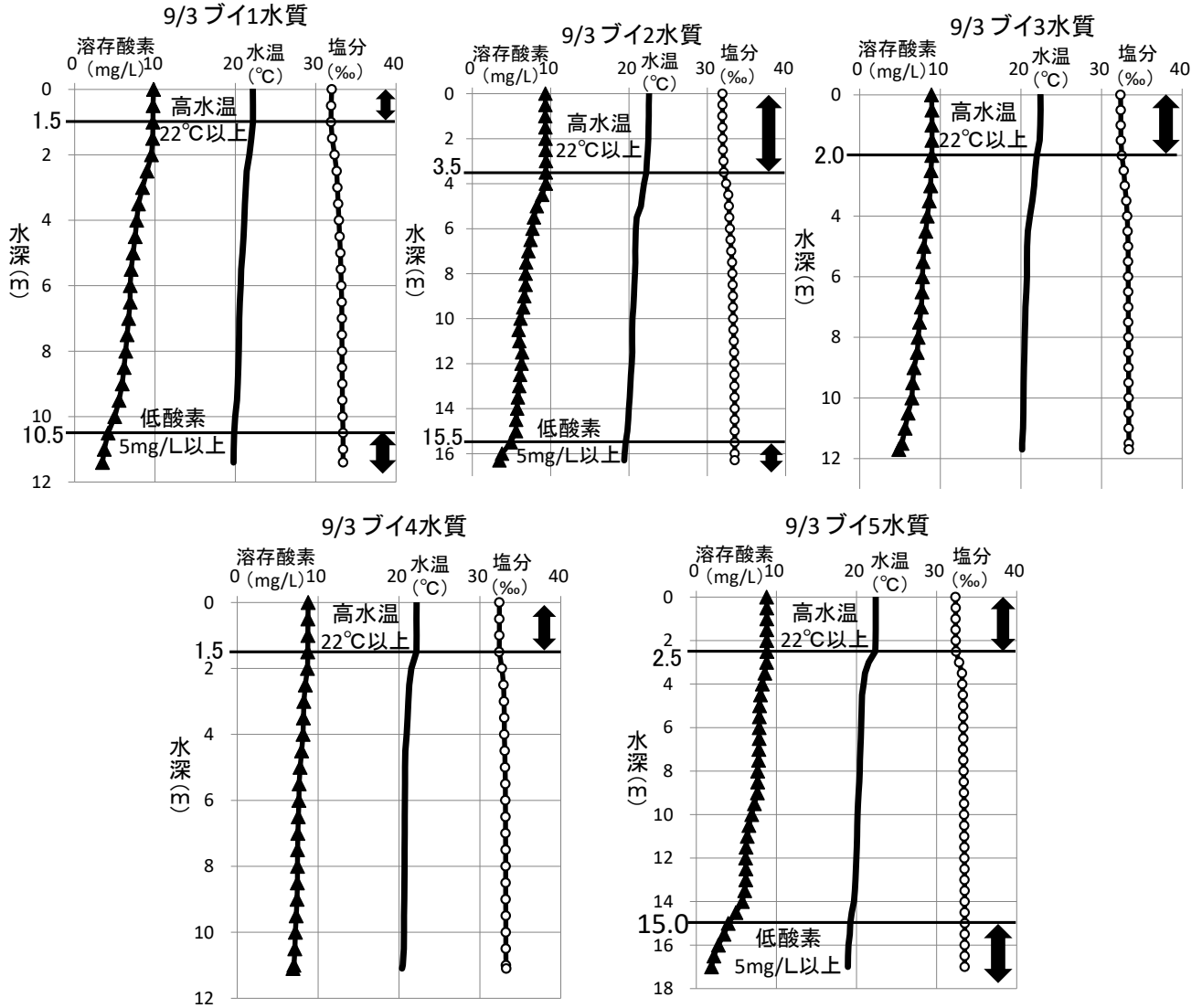
ホヤ類の出現状況



## ◎サロマ湖水質状況

9月3日に水質観測ブイ5機の各地点で水温、塩分、溶存酸素量を測定しました。

その結果、水温は全地点の表面から最大3.5mまでで22℃以上の高水温が広がっていました（水深1mで最大22.5℃）。低酸素はブイ1、2、5の底層で見られました。塩分は全地点で32‰以上あり、赤川の低塩分は解消されました。



水質観測ブイ地点図

